

坂下高校 校外研修

5月12日(金)に校外研修に行ってきました。3年生は「飛騨高山」、2年生は「犬山城下町とリトルワールド」、1年生は「満蒙開拓平和記念館と馬籠宿・妻籠宿」でした。3年生は全国屈指の観光地「高山」でその歴史・文化に触れ、2年生は今、観光地として盛り上がっている犬山城下町を散策し、地域活性化の事例に触れ、1年生は記念館で満州に分村を作った坂下の歴史の一部を学び、地元の史跡や文化・自然に触れました。仲間とのふれあいを通して、クラス・学年の親睦を図ることもできました。この日学んだこと・感じたことを今後の探究活動に活かしていきます。



【生徒による写真コンテスト入賞作品】

坂下中学校 東京研修

5月24日(水)から26日(金)に、3年生が4年ぶりの東京研修に行ってきました。日本の首都である東京にて多くのことを学んできました。1日目は、国会議事堂や東京大空襲・戦災資料センターの見学を行いました。東京大空襲を体験し坂下へ疎開された方のお話から、戦争の悲惨さや平和であることの喜びを感じるとともに、まわりの人へ思いやりの気持ちをもって接することから始めていきたいと考えました。また、キッザニア東京では、職場の雰囲気を感じ取ることができました。研修で学んだことを今後の学校生活に活かすことを期待するとともに、ふるさと坂下のよさを感じて欲しいと願っています。



坂下小学校 体験学習

6月9日(金)に、4年生と5年生の体験学習がありました。4年生は「あおぞら教室」で四ツ目川遊砂工と湯舟沢床固工群へ出かけ、土砂災害や砂防について学びました。5年生は「夢の教室」でダブルダッチの世界大会で3連覇した佐々木唯選手をお迎えして、「夢を持って努力すること」や「仲間と協力すること」の大切さを教えてもらいました。子供たちは講師の話に興味深く聞いていました。今年度は久しぶりに実際の様子や動きを見たり様々な体験を交えたりして学習する機会になりました。



やさかこども園 畑の活動

食育の一環として、畑で野菜を育てる活動を大事にしています。各クラスで自分たちが育てたい野菜を相談して決め、園を代表して年長さんに、野菜の苗を買いに行ってもらいました。園の畑や花壇、未満児さんはプランターも使って野菜の苗を植え、毎日水やりをして、野菜が収穫できることを楽しみにしています。苦手な野菜も食べられるきっかけになるので、畑の活動を大事にしていきたいです。先日は、園全体でさつまいもの苗さしをしました。秋にたくさん収穫して焼いもをするのが楽しみです。



《7月の主な行事》

日曜日	行事名	時間	場所
6 木	いきいき元気教室	13:30~14:30	坂下公民館
19 水	行政・人権相談	13:00~15:00	坂下総合事務所第2庁舎
26 水	定例区長会	13:30~	坂下総合事務所第2庁舎
31 月	やさか地区農業委員会	9:30~	坂下総合事務所

慶弔のお知らせ

5月11日~6月10日の坂下総合事務所への届出分

- ご逝去 (敬称略)
- 丸山 ひで子 (79歳) 新田
 - 三浦 たつゑ (95歳) 島平一
 - 原 さか江 (79歳) 中之垣外
 - 安江 百合子 (46歳) 新田
 - 小畑 勝弘 (83歳) 上外

編集・発行

中津川市 坂下総合事務所
 電話 0573-75-2111
 FAX 0573-75-4704
 Mail sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp

人口と世帯数

(令和5年6月1日現在)

人口	4,107人(前月比5人減) 男1,991人、女2,116人
世帯数	1,670世帯(前月比増減なし)

ごみの収集日

燃えるごみ	毎週月・木曜日
燃えないごみ	7月5日(水)
資源・硬質ごみ	7月12日(水)
大型ごみ	7月14日(金)
有害ごみ	7月26日(水)

2022年(令和5年)7月1日

さかたタイムズ

ときめき・かがやき・つながる さかした



第213号

DREAM GARDEN 裏庭 de ピクニック 開催

5月28日(日)坂下リバーフロント公園で子どもたちに向けたイベント『DREAM GARDEN 裏庭 de ピクニック』が開催されました。

コロナ禍の制限の中で我慢してきた子ども達に楽しい時間を過ごしてもらおうと、地域のグループ『チャームメイツ』が企画したもので、イベント開催にあたり多くの人や団体の支援協力がありました。中京学院大学の学生や、坂下高校・蘇南高校の生徒もボランティアとして加わり、坂下高校は遊びのコーナーも企画しました。

この日のイベント参加者は約500人。起伏のある公園内では、あちこちに点在する手作りのコーナーを巡って遊ぶ子ども達、大きな石に座って音楽を聴く人、草の上にシートを広げてお弁当を食べる人など、木曽川から吹く気持ちの良い風を感じながら大人も子どもも楽しい時間を共有しました。



やさか消防操法大会開催

5月21日(日)、坂下中学校グラウンドにおいて、第8回やさか操法大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、4年ぶりとなった操法大会では、4月下旬から、訓練を開始し、有事の際、すべての消防団員が機械器具をスムーズに操作することを目的とした操法技術を披露しました。大会は坂下分団が2チーム、山口・川上分団はオープン参加という今までにない形での開催となりましたが、各チームとも無事に操法を披露することができました。

来る6月18日(日)、馬籠ふれあい広場で開催される「第58回中津川市消防団及び第49回中津川市消防協会消防操法大会」には、坂下分団から、やさか大会の出場隊を中心とした選抜チームをつくり出場します。坂下地区の皆さんの応援をよろしくお願いします。



優勝した坂下分団Bチーム

岐阜県交通安全功労者表彰受賞

5月11日(木)、岐阜県庁で開催された令和5年岐阜県交通安全県民大会において、中津川地区交通安全協会坂下支部長 長瀬昌彦さん(新田)が、坂下支部理事を永年勤められたことにより、中津川地区交通安全協会の推薦を受け、交通安全功労者表彰 岐阜県警察本部長・岐阜県交通安全協会長連名賞を受賞されました。おめでとうございます



長瀬 昌彦さん

ライオンズクラブよりご寄付をいただきました

6月7日(水)、中津川、恵那市の5つのライオンズクラブより、教育基金として小・中学校の支援のためにご寄付をいただきました。

この寄付金は5月に市内でチャリティーゴルフコンペを開催して集めていただいたもので、当日は、代表 小栗史司 様と代表補佐 大山保行 様から届けていただきました。

ありがとうございました。

○寄付先と金額

・坂下小学校と坂下中学校へ 75,000 円



左から大山さん、小栗さん、廣瀬所長

文化歴史ウォーキング開催

5月20日(土)、文化歴史ウォーキング(坂下公民館主催)が開催されました。

当日は、好天に恵まれ、坂下総合体育館を出発し、八旗八幡神社、蔵田寺等を見学し、軽便鉄道跡を歩き稲荷堂、若宮八幡神社を通り、坂下総合体育館へ戻る約5kmの行程を歩きました。参加者は、案内人の説明を聞きながらウォーキングを楽しみました。



やさかイキキあいさつ運動

6月1日(木)、「あいさつや声かけで地域の子どもの見守る活動」を推進するため、やさか合同いきいきあいさつ運動が開催され、矢刈交差点付近、坂下総合体育館付近で青少年健全育成推進市民会議坂下支部会員により登校中の小中学生にあいさつや声かけを行いました。子どもたちは、元気にあいさつをしていました。



<坂下文化協会50周年記念事業>

ボーカル・ピアニスト

加納 洋 コンサート

中津川市出身 ニューヨーク在住
国際的に活躍している全盲のミュージシャン

2023年 7月30日(日)

開場 13時30分 開演 14時00分

場所 坂下公民館 多目的ホール 入場無料

共催:やさか地区ひまわりの会 協賛:坂下地区社会福祉協議会



やさか図書室めぐりのお知らせ

期間:7月21日(金)から8月20日(日)

内容:山口、坂下、川上公民館の図書室をめぐって本を借りよう。

詳細については、こども園・小学校を通じて配布のチラシをご覧ください。



問合せ先:坂下公民館 TEL75-3115

坂下プール(松源地)の休止のお知らせ

坂下プール(松源地)は、施設点検の結果、ろ過タンクが故障しており夏休み期間の開放に間に合わないため、今年度も休止することとなりましたので、お知らせします。

問合せ先:坂下総合事務所
TEL75-2111

郷土文化財保存会会員

たぐち のりいち
田口 憲一

郷土文化財紹介

<賤母発電所のこと 3 記念物と桜と紅葉>

賤母地域は以前より景勝地として名高かったので、コンクリート建造物の出現に反対意見もありました。名古屋電灯株式会社は、この点に配慮して、工事後に桜・紅葉などを植え公園の美化に努めました。その後の賑わいは、以前、野村欣一氏が述べてみえたとおります。

木曾川上流の発電所の建物は全て違った外観で、大正ロマンに満ちていて美しいが、全国の水力発電所の研究をしていた技術史家、故加藤博雄氏によれば賤母発電所は最上級だと賞賛していました。絵になる発電所と言えるのです。

賤母公園には発電所の歴史を物語る記念物がいくつかあります。フェンスの中に発電所紀功碑があり、福沢桃介題額「恩河深而無底」と、由来を記した杉山栄氏(名古屋電灯株式会社土木課長)の碑文が刻まれ、裏面には福沢桃介氏(同社長)、下出民義氏(同副社長)、増田次郎氏(同常務)等関係者8人のレリーフがはめ込まれています。発電所の直ぐ上には立派な御影石の佐治儀助翁(同取締役)像台座もあります。佐治儀助氏は木曾川上流の水利権取得に功績がありました。戦時中の金属供出で今は台座のみとなっていますが、裏面には儀助氏の功績を称えた碑文があります。国道19号から上の水圧鉄管を見上げると、貯水槽の上に西園寺公望氏の揮毫「利穿金石功濟天下」(利金石を穿ち功天下に濟す)の扁額が見えます。福沢桃介氏は尊敬する人物の揮毫を他の発電所にも掲げています。発電所建設のために架けられた「対鶴橋」は取り壊されましたが、その命名の由来は、発電所建設に協力のあった帝室林野管理局長南部光臣氏の家紋「対鶴」で、掲げてあった額も南部氏の書でした。

他に縦軸水車のランナーを見ることが出来ます。



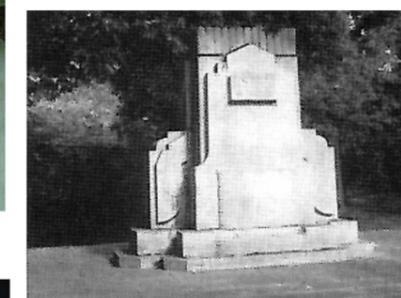
↑ 水圧鉄管と桜



↑ 紅葉と対鶴橋



↑ 福沢桃介題額



↑ 佐治儀助翁像台座



↑ 取壊し中の対鶴橋



↑ 大正11年製造縦軸水車のランナー



← 「利穿金石功濟天下」



7月 16日

毎月第3日曜日は「家庭の日」 中津川市青少年健全育成推進市民会議
・やってよいこと わるいこと